

みみよい

なお知らせ！

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日



WHO（世界保健機関）が警告 大音量の携帯音楽プレーヤーの試聴は難聴を誘発
WHO では、85 デシベルでの音量で 8 時間以上、100 デシベルで15分以上、音を聞くと聴覚神経が損傷するおそれがあるとみみの日に発表されました。



50年の研究、教育を振り返る

センター開設 1 周年を記念して、昨年 3 月に引き続き東京大学先端科学技術センターの大沼先生(前筑波技術大学長)を招いて「聞こえのバリアフリー」の講演会を行いました。参加者は市町の議員、社協、施設の担当者や聴覚障害者等約 70 名が2時間みっちり、熱心に聴講しました。

センター入館者10000人達成

センター来館者が、3 月 4 日に10000人となり、佐賀市の櫻井さんに記念品を贈呈いたしました。

櫻井さんは、お孫さんに探してもらった耳鼻科からセンターを紹介してもらい来館されました。10000人目と聞いて驚いた様子で、「来て良かった。補聴器をつけて良く聞こえるようになった」とのことでした。



聞こえのバリアフリー 大沼直紀先生講演会

東大先端研(前筑波技術大学長)



補聴器も人工内耳も大変進化

先生は 50 年間の研究・教育等を 10 年区切りで振り返りながら、特にろう教育では乳幼児時代がはじめ、母親のコミュニケーション方法や子供との関係づくりが有効であったこと、最近の加齢性難聴への対応として自身も 65 歳から補聴器装着していることや人工内耳も含め大変進化している現況に言及されました。

社会に聞こえの痛みを知ってもらうことが必要

難聴の痛みは精神的、心理的、社会的な人と関わることで発生する特別な痛みであり社会に聞こえの痛みを知ってもらう必要があることなどについて分かりやすく話されました。

質問にはメールアドレスを公表しているので直接メールしてくださいとのことです。

手話通訳者全国統一試験合格者が 3 月11日に発表され本県から 3 名が合格。合格率 33.3%、全国 11.7%

スマホで写真(ICT活用講座)で構図の基本学ぶ

全3回の講座2月1日から、構図の基本をプロから学びました。撮られた写真を例に、“人の目線が行くところにポイントを置く”“写真の力が抜ける部分をなくす”など詳しく教えてもらい、最終日にはセンター周辺のひなまつりやえびす像等を撮って、すぐ評価してもらいました。腕に磨きがかかった写真はセンターで展示しています。

耳の記念日である3月3日に6回の講座を終え、7名が修了しました。これから現場での研修を経て、ボランティアとして協力していただきます。皆さんの活躍に期待しています。

7名が字幕制作ボランティア養成講座(後期)修了



全国ろう者将棋大会 in 佐賀

全日本ろうあ連盟の第14回全国ろう者将棋大会が2月21日～22日、センターで開催された。16都道府県から36人(うち女性2人)応援者など含む61人が参加有段者のAクラスと1級以下のBクラスに分かれて、熱い対戦がありました。優勝はAクラス宮田睦さん(埼玉県) Bクラスは青田義治さん(広島県)でした。小出教育・文化委員長は「手話を通じ、ろう者と聞こえる人がお互いを理解し、共生することが出来る社会」を実現したいと挨拶されました。



日 時 2015年2月21日(土)～22日(日)

会 場 佐賀県聴覚障害者サポートセンター(佐賀県二ツ井4期)

シリーズ きこえの仕組み番外編



今回は「**テレビの音声補聴の方法**」についてです。

年を取ってくると、遠くの音が聞こえにくくなり、テレビの音を大きくしてしまい、家族から文句を言われたことはありませんか。それを解決してくれるのが、テレビの音を手元で聞く「**ワイヤレス(無線)スピーカー**」です。(有線のものもあります)

絵にある通り、テレビに接続した送信機から、手元のスピーカーに電波等で送られた音声を聞くもので、音量の加減を手元でやれます。

送る仕組みには①2.4GHzの無線電波②赤外線③bluetoothの3つがあり、②は人や物で遮られやすく、③はスマホ・パソコンとの互換性があり高機能だが設定の難しさがあるとのこと。年配の人向けで難しい設定がなく使いやすいのは①だそうです。また、家族と共に音声をそれぞれ楽しみ、テレビを見るためには、**テレビの説明書を見てヘッドホン端子の設定を切り替える必要**があります。

音質は、一般に**スピーカーのより大きいもの**が良いとのこと、更に「はつきり音」機能という人の話し声(中音)を強調したのもあるとか。**価格は幅広く、有線の物が2千円台から、赤外線・bluetoothで5千円～8千円台、①の無線電波で1万1千円～3千円台、ヘッドホン式で2万円台、有線だが音質が超ド級の comuoon(当センターで試せます)で約20万円と様々です。**

家電量販店にもテレビの近くに小さなコーナーがありますし、インターネットで「**テレビ用ワイヤレススピーカー**」で検索すれば様々出てきます。試聴ができないのが難点ですが・・・

少しでも良い音で、家族に気兼ねなく、いつまでもテレビを楽しみたいものです。

※絵の引用元：<http://www.sukicomi.net/2014/01/sc-mc20.html>



聴覚障害者とICT(情報通信技術)No. 6

今回、紹介するアプリは「UD手書き」です。名前のお通り手書きで筆談等に使えるアプリ。メモや筆記用具がない時は指先で文字を書いて筆談することができます。手書きなので地図やイラストなども楽ちん。写真を取り込んで文字を書きこむこともできます。iOS および Android どちらにも対応しているので、普段から持ち歩くスマートフォンに入れておくと便利かもしれません。



鳥栖基里地区 出前手話講習会 3月7日



毎回鳥栖地区の手話サークルメンバーもサポート

最終回では鳥栖地区ろう者も参加し受講者は、4回の講座で学んだことを必死にろう者に伝えました。今回の講習会に付き合いで仕方なく始めた最終回に本音をはなされたSさんは、実はメンバーの中で一番積極的でした。

今回の講座で手話に興味を持ったので手話をもっと学びたいと話された方々。

5回の講習会は手話を学んでみよう！というきっかけ作り。今後は地域のサークルなどでろう者とふれあいながら手話学習に取り組む続けてほしい。

4月19日(日) 開設1周年記念行事
ボディパーカッションで音楽を楽しもう
山田俊之先生

3月21日(土)第6回 第三土曜上映会
幸福の黄色いハンカチ (字幕付き)

4月18日(土)第7回 第三土曜上映会
ほたる (字幕付き)



受講生募集中です

手話通訳者養成講座Ⅰ 4月12日～9月20日(各日曜日)
10:00～15:00
受講料 無料(テキストのみ有料)
定員 20名

手話通訳者養成講座Ⅱ 4月12日～9月20日(各日曜日)
10:00～15:00
受講料 無料(テキストのみ有料)
定員 20名

要約筆記者養成講座 6月3日～10月28日(各水曜日)
10:00～15:00
手書きコース20名、パソコンコース10名
受講料 無料(但しテキスト代、材料費実費)



編集後記 サポートセンターは、4月から2年目に入ります。あわただしい1年でしたが、充実していました。Y

DVD新作入荷いたしました。

お奨めは、「松本潤と耳の不自由な子どもたち 心をひとつに刻むタップダンス」です。東京都立川ろう学校33名の生徒が武道館で披露するまでの練習から本番までを紹介しています。

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商工ビル4階)
TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705
メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp
ホームページアドレス: <http://saga-mimisapo.jp/>

<開館時間>

9:30～18:00
9:30～20:00(水曜)

<閉館日>

4月より毎週月、祝日、年末年始となります。